

データビジュアライズ マッピング in Otsu

— 大津の〇年後をビジュアライズ！！ —



UDC (アーバンデータチャレンジ) 滋賀ブロックの活動も3年目になりました！
今年のテーマは「**大津駅前を盛り上げる！**」です。
アイデアイベントとテクニカルイベントの2回のイベントを通して、大津の未来を考えよう！

8/26

1回目／キックオフ&アイデア提案イベント

1回目のイベントでは、オープンデータや公共データを活かして、41年ぶりにリニューアルされた大津駅周辺のエリアを中心に、**大津市中心市街地がもっと魅力的なまちになるための課題と解決策を考えます。**大津市のオープンデータの取り組みや、データ利活用についてぜひ知ってください！
市長ミーティングも開催します！！

9/24

2回目／まちあるき&マッピングイベント

2回目のイベントでは、1回目のイベントのアイデアをふまえて、まちの情報を集めるため、グループに分かれて“まち歩き”を行います。集めた情報はマッピングツールで情報をマップに落とし込み、**データのビジュアライズ（可視化）や分析情報との比較などにチャレンジします！**

プログラムは裏面をご覧ください

- イベント名：データビジュアライズ マッピング in Otsu
- 日時：8/26 (土)・9/24 (日) 10:00～17:00
- 会場：しがぎんホール（滋賀県大津市浜町1-38 滋賀銀行本店内）

■ 定員：30名程度
定員に達し次第締め切ります。

■ 参加費：無料

■ 持ち物：会場内でWi-Fiをご利用いただけますので、ご自身のノートパソコン等をぜひお持ちください。

■ お申し込み

✓ イベント専用ページから申し込む

<https://udc2017otsu.connpass.com/>

✓ 大津市電子申請サービスから申し込む

大津市ホームページにアクセスし、記載している申込フォームからお申し込みください。
大津市HP：http://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/001/1218/g/od/udc/1501240769425.html
(右下のQRコードからホームページにアクセスできます。)

✓ メールで申し込む

氏名・電話番号・メールアドレス・職業・関心のある地域課題を記載し、下記の情報システム課アドレス宛にメールを送信してください。



まちづくりに関心がある方、データ活用に関心がある方、大津が大好きな方、もっと大津を知りたい方。
ITエンジニアの方もそうでない方も。イベントに関心がある方なら、どなたでもご参加いただけます！

お問い合わせ先：大津市情報システム課（UDC担当者）
TEL 077-528-2713 メール otsu1218@city.otsu.lg.jp

→
大津市
ホームページ
QRコード



データビジュアライズマッピング in Otsu

－ プログラム －

平成29年8月26日（土） キックオフ&アイデア提案イベント【10：00～17：00】

講演①	「アーバンデータチャレンジについて」 講演者：アーバンデータチャレンジ事務局 東 修作氏
講演②	「データが切り拓く未来」 講演者：滋賀大学データサイエンス学部 教授 高田 聖治氏
講演③	「大津市のオープンデータの取り組み」 講演者：大津市CIO補佐官 木下 克己
講演④	「ICT活用による地方創生」 講演者：滋賀銀行 執行役員システム部長 中島 浩之氏
講演⑤	「ジュネーブ構想及び宿場町構想について」 講演者：大津市未来まちづくり部まちづくり連携推進監 松澤 秀夫
企画	市長ミーティング / 大津市長 越 直美
インプットセミナー①	「大津の歴史とまちづくりについて」 株式会社まちづくり大津 取締役事務局長 元田 栄三氏
インプットセミナー②	「データをまちづくりに活かす」 Code for Shiga / Biwako 藤澤 栄一氏
ワークショップ	アイデア提案 など

まとめ

平成29年9月24日（日） まち歩き&マッピングイベント【10：00～17：00】

ワークショップ	大津市中心市街地をまち歩き
ワークショップ	地図作成ソフトでデータビジュアライズに挑戦！ など

まとめ

オープンデータとは…

- ◆ 「オープンデータ」とは、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールのもと公開されたデータのことです。
- ◆ 大津市では、平成27年度にオープンデータポータルサイトを開設し、行政データを二次利用可能な形式で広く公開しています。詳しくは、「大津市オープンデータポータルサイト」をご覧ください。
【URL】 <http://www.city.otsu.lg.jp/opendata/>

アーバンデータチャレンジとは…

- ◆ アーバンデータチャレンジ（UDC）とは、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）及び東京大学生産技術研究所が主催する、年数回のイベント開催を伴う、公共データを活用した一般参加型コンテストです。大津市は2015年から地域拠点として活動しています。
- ◆ イベントを通して、データの有用な活用アイデアやアプリを考えましょう！

データ活用に興味のある方！ぜひご参加ください！